

## 「有明棒踊りの伝承活動の取組」

1 学校名 志布志市立有明小学校

2 学年・人数 5年生～6年生（計39名）

### 3 日時・場所

- (1) 練習の日時（場所）：平成28年9月20日14:15～16:00, 9月23日8:55～10:35  
（有明小学校体育館）
- (2) 発表の日時（場所）：平成28年9月25日11:50～12:00（開田の里公園）

### 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

- (1) 名称：有明棒踊り（ありあけぼうおどり）
- (2) 由来

昭和61年度、曾於地区の郷土教育指定校となったことを受け、学校・家庭・地域をあげて郷土教育への取組がなされた。その一環で長らく途絶えていた校区内の仮屋集落の棒踊りを復活させ、研究公開や運動会、地区の祭、曾於地区教育振興大会で披露した。その後、毎年、運動会で披露し、野井倉開田の中心にある有明小学校で奉納するようになった。

元来、仮屋自治会で行われていた棒踊りで、日露戦争から帰還した兵隊が自治会に伝えたといわれており、人と共に苦勞してきた牛へ奉納する踊りが起源であると伝えられている。

- (3) 構成等有明小学校5～6年生全児童

### 5 保存会や地域との連携の具体

これまで、指導は校区在住の卒業生に依頼し、校区公民館主催の「祝敬老ふれあい元気まつり」に出演していた。昨年度より、郷土芸能を後世まで伝承するためには、指導のできる地域住民の育成が必要であるという考えから、保存会が呼びかけ、有志4名が集まり、子どもたちの指導に当たってくれた。

### 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

有志4名が、校区在住の卒業生に指導してもらったり、昨年度のビデオ等で踊り方を練習したりして、子どもたちへの指導者として関わってもらった。時数としては、総合的な学習の時間の指導計画に位置付け、練習時間の確保を行った。

### 7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



総合的な学習の時間にて、講師（地域住民）による指導



有明校区祝敬老元気まつりでの披露

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

- ・ 初めて練習から参加したが、これからも地域の伝統芸能を大切にしたいと思った。本番は、会場の方々から拍手をもらい、うれしい気持ちになりました。(児童)
- ・ 本番はしっかりできるか不安だったけど、しっかり踊ることができて安心した。(児童)
- ・ 伝統ある踊りを伝承していくという視点から、昨年度より、地域の方々が、指導に来てくださりありがたい。確実に伝承していく意味でも、保存会の活動を活発にして、地域住民が主体となり、後継者を育成していくことが望ましいと考える。さらに、土曜体験広場等を活用して、小学生と中学生と一緒に練習したり、本番で踊りを披露できたりすることが必要である。(教員)
- ・ さらなる伝統芸能継承のため、本番でも小学生、中学生、地域（保存会）の方々が一緒に披露できればと考える。